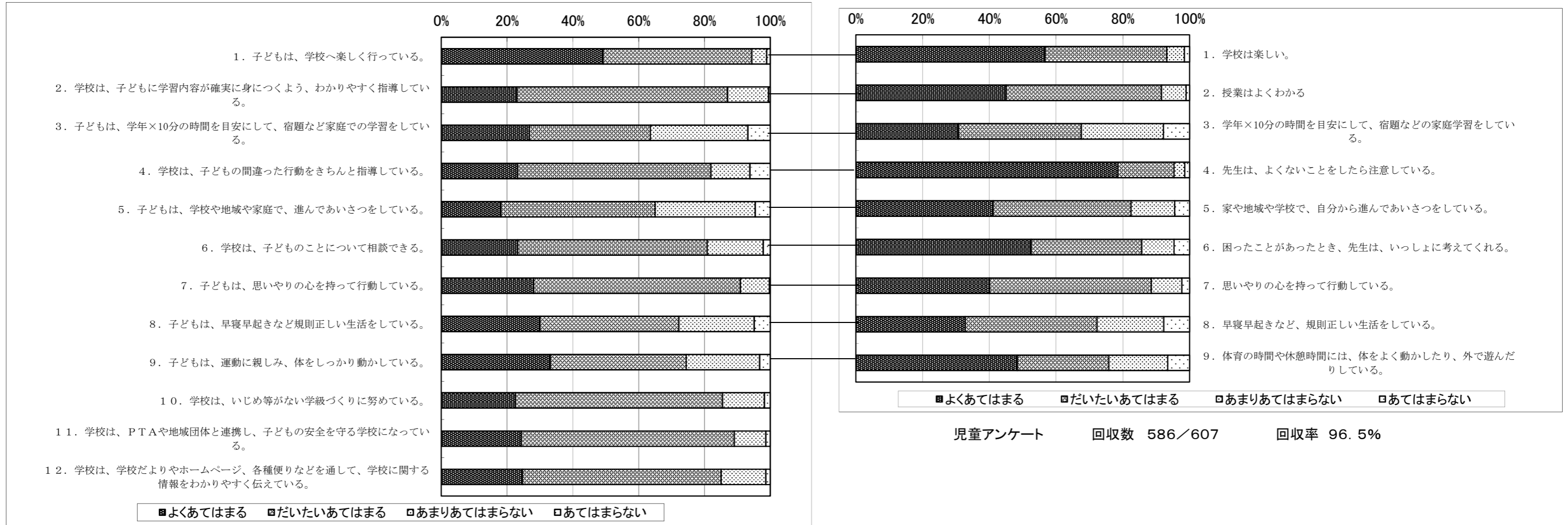


令和元年度 保護者・児童アンケート集計結果

令和元年11月18日～11月22日実施

昨年の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には ―――― を結んでいます。



保護者アンケート 回収数 752/884 回収率 85.1%

＜結果のまとめ＞

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が特に多かったのは、「1. 子どもは学校へ楽しく行っている。」で94.4% (昨年度95.6%) でした。これに対応する児童アンケート「1. 学校は楽しい」の肯定的評価の割合も多く、93.2% (昨年度91.1%) となりました。また、次いで多かったのは、「7. 子どもは、思いやりの心を持って行動している」90.9% (昨年度91.7%) で、これに対応する児童アンケート「思いやりの心を持って行動している」は88.5% (昨年度87.0%) でした。

◆保護者アンケートの中で肯定的評価が特に低かったのは、「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、宿題など家庭での学習をしている。」で63.6% (昨年度70.8%) です。一方、児童アンケートの「3. 学年×10分の時間をめやすにして、宿題などの家庭学習をしている。」は67.5% (昨年度68.3%) でした。本年度は、第2学年と第3学年を対象児童を拡大し、月に一度「放課後学習会」を実施しています。ボランティアさんにお手伝いいただき、宿題や難易度の高い問題に取り組んでいます。学習に自信を持ったり家庭学習の習慣を身につけたりすることをねらいとしています。また、学校では「家庭学習の手引き」を作成して家庭学習の考え方をお知らせしていますが、学校と家庭が連携して学習習慣を定着させていく必要があります。

◆2番目に低かったのは、「5. 子どもは、学校や地域や家庭で、進んであいさつしている」で65.0% (昨年度65.7%) でした。対応する児童アンケート「5. 家や地域や学校で、自分から進んであいさつをしている」は82.4% (昨年度82.4%) でした。校内では、生活委員会の児童が校門で毎朝「あいさつ運動」を続けており、あいさつをする雰囲気を広めよう児童が主体となった取組を行っています。

◆保護者アンケート「子どもは、思いやりの心を持って行動している」90.9% (昨年度91.7%)、児童アンケート「思いやりの心を持って行動している」88.5% (昨年度87.0%) は、昨年度に新設した項目です。道徳は、「特別の教科 道徳」として、昨年度より新たに教科化されました。本校では、道徳の主なねらいの一つに「思いやりの心」を道徳の主なねらいの一つととらえることとしています。9月に「道徳参観」を設け、保護者の方に積極的に授業の様子を見ていただき、学校と家庭で子どもの学ぶ様子を共有できる機会を設けました。また、11月下旬には児童会で友達の良いところを見つけよう(みんな笑顔で過ごせる学校に)をテーマに「ほっとハートプロジェクト」を実施しました。これは各委員会が、全校児童が自主的に「自分も周りの人も大切に」しようとする取組を考え、実施したものです。各委員会では、心が温かくなる言葉を掲示したり、教室に花を届けたたりするなどの取組が行われました。今後も、児童自身に学校をよりよくしていこうとする主体的な態度を育てていきたいと考えます。

◆学力向上については、保護者アンケート「2. 学校は、子どもの学習内容が身につくよう、わかりやすく指導している。」は、87.0% (昨年度90.9%) でした。一方、児童アンケート「2. 授業はよくわかる」は、91.6% (昨年度92.1%) でした。学校では、新しい学力観に応じた「学び合い学習」が活性化するよう、ペアやグループで話し合う場面を積極的に取り入れた授業づくりを行っています。今後も、授業改善に向けた研修・実践に取り組み、児童の学力向上を図っていききたいと考えます。

◆体力向上については、保護者アンケート「9. 子どもは、運動に親しみ、体をよく動かしている。」の項目で74.5% (昨年度74.7%)、児童アンケート「9. 体育の時間や休憩時間には、体をよく動かしたり、外で遊んだりしている。」の項目で75.8% (昨年度82.0%) という結果でした。本年度も引き続き、家庭学習のひとつに「体育の宿題」を位置づけて体力向上に取り組んでいるところです。「体育の宿題」の内容は、体育の学習内容に応じたものとなるよう検討しています。

◆保護者アンケートの「10. 学校は、いじめ等がない学級づくりに努めている」は、85.5% (昨年度86.0%) でした。昨年度より高い割合を維持しています。いじめの捉え方は近年大きく変わり、本校でも積極的に対応してきているところです。今後も学校と家庭で連絡を取り合いながら、いじめに向き合っていきたいと考えています。

◆保護者アンケート「8. 子どもは、早寝早起きなど規則正しい生活をしている。」の項目は72.3% (昨年度74.5%) であったのに対し、児童アンケート「8. 早寝早起きなど、規則正しい生活をしている。」の項目は72.2% (昨年度68.1%) という結果でした。学年別に見た場合、高学年になるにつれて基本的な生活習慣が乱れる傾向が見られます。全国的な調査から、基本的な生活習慣と学習意欲は関わりがあるといわれています。今後も家庭や各校園と連携しながら、取組を進めていきたいと思ひます。

※保護者および児童アンケートの結果を活用した自己評価と改善策等につきましては、「令和元年度 唐崎小学校学校評価書」をご覧ください。